

資格取得を考えているみなさんへ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学 公開日: 2013-05-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 直樹 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/15822

資格取得を考えているみなさんへ

伊藤 直樹

(いとう・なおき) 文学部専任講師。

一九六七年東京生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程中退。精神障害者授産施設札幌市こぶし館精神科ソーシャルワーカー、学習院大学学生相談室相談員、埼玉工業大学工学部専任講師を経て現職。

専門は、臨床心理学、教育心理学。特に思春期・青年期における学校での適応について。

著書として『スクールカウンセリングの基礎知識』、新書館(共著)、『コミュニケーションメンタルヘルス』、批評社(共著)。



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これからみなさんとともに学んでいくことを楽しみにしています。

私は資格課程の教員をしております。資格課程は、教職課程・学芸員養成課程・社会教育主事課程・司書課程・司書教諭課程という五つの課程で構成されています。最近はのべ五〇〇〇人近い学生がこの課程のいずれかないし複数を履修し、それぞれの資格を取得していています。明治大学の学生数が全体で約三万五〇〇〇人ですから、実に多くの学生が資格課程で学んでいるということがおわかりになると思います。

資格を取得するためには、卒業に必要な勉強のほかに多くの勉強が必要となるのに、なぜ、これほど多くの学生がトライしているのでしょうか？

ご存知のように、世の中は資格ブームとでもいえる状況です。不況の影響のほかに、自分自身に投資して自己を磨きたい、自分自身の個性や適性を確認したいという人たちが増えているように見えます。ただ、資格課程の五つの資格は就職する際に必要となる条件となることはあっても、その資格があれば就職できるという性質のものではありません。それぞれの資格とも、その資格をいかして就職する仕事は狭き門となっています。

私自身は、高等学校教諭（社会）のほか、臨床心理士、精神保健福祉士、学校心理士の四つの資格を持っています。資格をたくさん持っているから資格課程の教員になったというわけではありませんが、資格を取った過程で学んだことは現在の私の仕事にかなり役に立っていることは事実です。そこで、資格を取得する過程で考えたこと、資格を取得して思ったことを簡単に書いてみたいと思います。

まず、高等学校教諭の免許ですが、大学生の時に高校の教員になりたいという気持ちがとりわけ強かったわけではありませんし、まして、将来、大学の教員として資格課程で教えることになることは夢にも思っていないませんでした。しかし、教職課程の授業で勉強したことや教育実習で経験したことは、今も頭に残っていますし、その後の人生を豊かにしているように思います。ここでみなさんにお伝えしたいのは、今、頭に残っていることや人生を豊かにしていると思うことは、教員免許を持っているというそのこと自体よりも、免許を取得する過程で学んだことだということです。仮に私が大学の教員にならず高校の教員になっていたとしても同様でしょう。

他の三つの資格は、資格課程で取得できる資格ではありませんし、資格のために勉強を

して取った資格ではありません。三つの資格とも、比較的最近できた資格です。これらの資格は、すでに、私自身が現場で経験を積んでいて、その資格に相当するような知識・技能を持っていることを社会的に認めてもらうために取得したものです。

仮に、その資格に相当する知識・技能を持ちあわせていないまま資格を取得した場合、当初はそれにより社会的な信用を得ることは可能でしょう。しかし、その資格に見合った知識・技能がなければ、いずれ、現場では通用しなくなります。現場で要請される知識・技能は実にシビアです。

もう一つ強く感じることは、その資格をいかして仕事をしていこうとしたら、資格取得後も継続的に勉強していかないといけないということです。最近の世の中の動きは非常に速く、その資格に必要とされる知識・技能は絶えず変化し、複雑化しています。資格を取得してもしばらく勉強を怠れば、やはり、現場では通用しなくなってしまう。

「何だ、資格といっても、結局のところ、勉強ばかりじゃないか」と思われるかもしれませんがね。そうです。実際に「一に勉強、二に勉強、三、四がなくて、五に勉強」の世界です。

ただ、一人ですべての勉強をしようとしたら、それは非常に大変です。明治大学の資格課程は、それぞれの課程で専用の部屋を持っています。そこには、課程ごとにスタッフがおり、みなさんのわからないことにお答えしたり、いろいろなご相談に応じたりしています。また、その資格に必要な情報のほか、アルバイトやボランティアに関する情報、実際の求人情報などもあります。そうした資料を調べたり、同じ資格を取得しようとする学生が集まって交流をしたりといったことも盛んに行われています。

こうした人と人とのつながりや他の個性とのふれあいは、勉強する過程を支えるだけでなく、多くの刺激を与えてくれることでしょう。資格課程を履修した学生諸君には、教室の中での勉強はもちろんですが、同じ資格を取得しようとしている他の学生との交流の中からもたくさんのかんことを学んでいってほしいと思います。そのことは資格をいかした専門職に就いた時に必ず役に立ちますし、当面はその専門職に就かない場合であっても、その人の人生を豊かにしてくれることは間違いありません。

もちろん、資格課程の教員もみなさんとの出会いを楽しみにしています。それぞれの資格に関心のあるみなさん、明治大学の資格課程と一緒に勉強しましょう！